

半切四分の一に書くⅡ (16)

締切り 四月二十三日 (必着)



神谷 葵水 先生 書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のこと、その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

ります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

【読み】 日高花影重 (周朴)

ひたかくしてはなえいちょうしゅう

ひたかくしてはなえいちょうしゅう

【大意】

日は高々と上がって、百花繚乱と咲き乱れた花々が重なり合って影を作る。

【解説】

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤滑も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べるのが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

【作品の出し方】

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フエルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

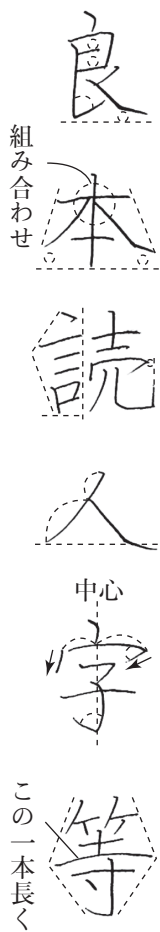
一般部規定課題

締切り 4月23日(必着)

準初段から六段まで

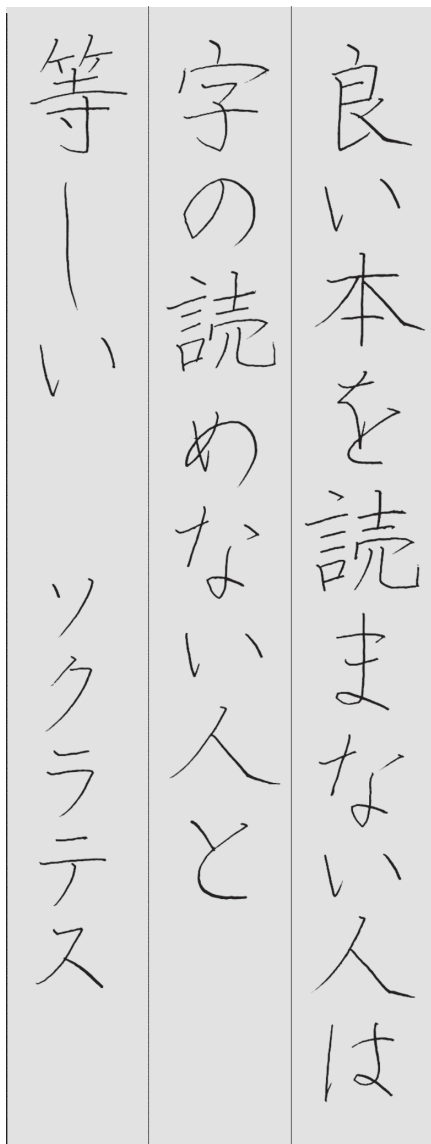
新入から1級まで

〔解説〕



◎楷書の上質な方は、大抵左右の払いがきれいです。特に右払いが軽くならないようご注意ください。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

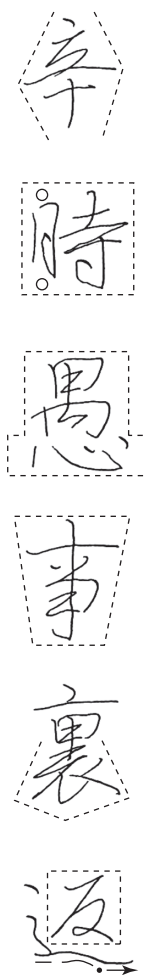


おく むら のぶ ゆき 書
奥 村 暢 之

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範 行書
▼師範 楷書

◆5月課題予告(行草または草書)
思い付きとは
精を出し仕事を
する時に限り現れる

★良い本…(書体 楷書)
ソクラテス(前四六九〜三九九)
古代ギリシャの哲学者
ソクラテスの名言の中でよく似た言葉があります。「本を読むことで自分を成長させなさい。本は著者がとても苦勞して身に付けたことを、たやすく手にいれさせてくれるのだ」と言っています。良い本とは、読者自身を成長させてくれるものでしょう。

◆5月課題予告(楷書)
教育の進歩が
なければ社会も
進歩しない

★辛さは…(書体 行書)
幸田文(一九〇四〜一九九〇)
小説家・幸田露伴の次女
作家はその昔、一人の少年の就職を
斡旋しました。彼は、就職先で苦勞を
重ねましたが、作家への感謝を忘れず
に年に幾度も作家を訪ねます。
どんな辛さも後になってみると「あ
んなことに辛がっていたのか」とあき
れることもあるのではないのでしょうか。

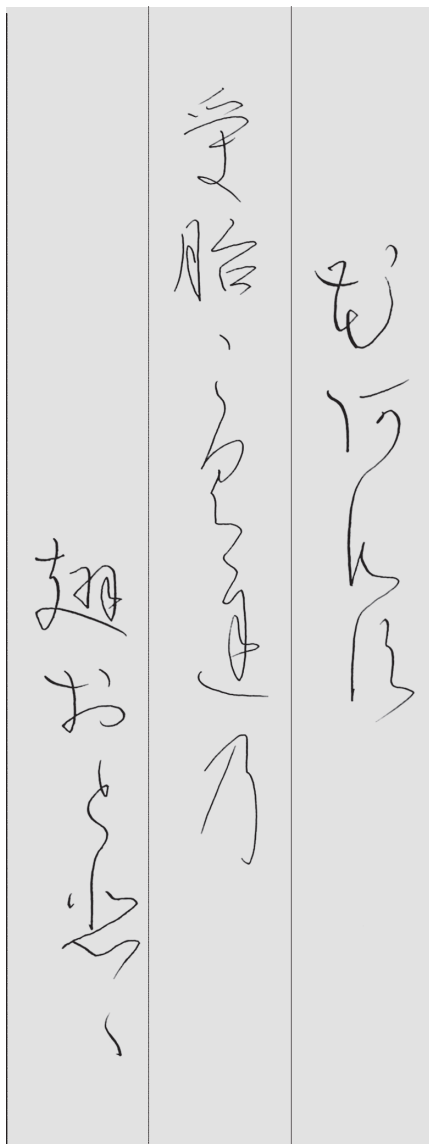
一般部かな課題

締切り 4月23日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

花杏^{阿无須}受胎告知^{こ具遅乃}の翅音^{おと悲}びび



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

花杏^{あ无寸}受胎告知^{こ久ち農者於と}の翅音^{おと}びび



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

花杏^{はなあんず}受胎告知^はの翅音^{おと}びび

(川端茅舎^{かわばたぼうしゃ})

〔句解〕晩春のものうい光の中で、杏^{あんず}の花が咲き満ちており、花の中で蜜を吸っている虫の羽音がびびと聞こえて、おしべの花粉がめしべに接授されているこの瞬間は、あの受胎告知の時のように思われる。

〔鑑賞〕光の中で花をながめ、その花の中の虫の羽音を聞いた時、西洋の名画の世界にいるような気がして、花の中の虫の動きに清らかな受胎を連想したのである。一時は画家を志した茅舎だから、受胎告知の名画は多く知っていたに違いない。

〔古筆参考〕

阿^あ 阿 阿 阿 阿
具^ぐ 具 具 具 具
農^の 農 農 農 農
者^は 者 者 者 者
悲^ひ 悲 悲 悲 悲

〔解説〕「は」(須)の右側は点を三つ続けて書くようなつもりで書く。

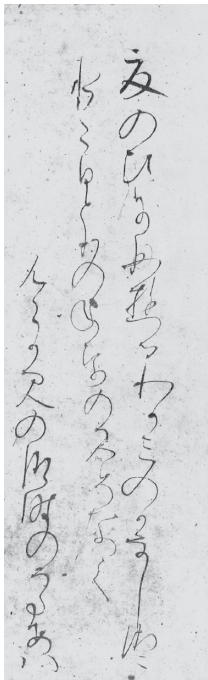
◆5月課題予告

外^とにも出よ触る、ばかりに春の月

(中村汀女^{なかむらていじょ})

〔古筆参考〕

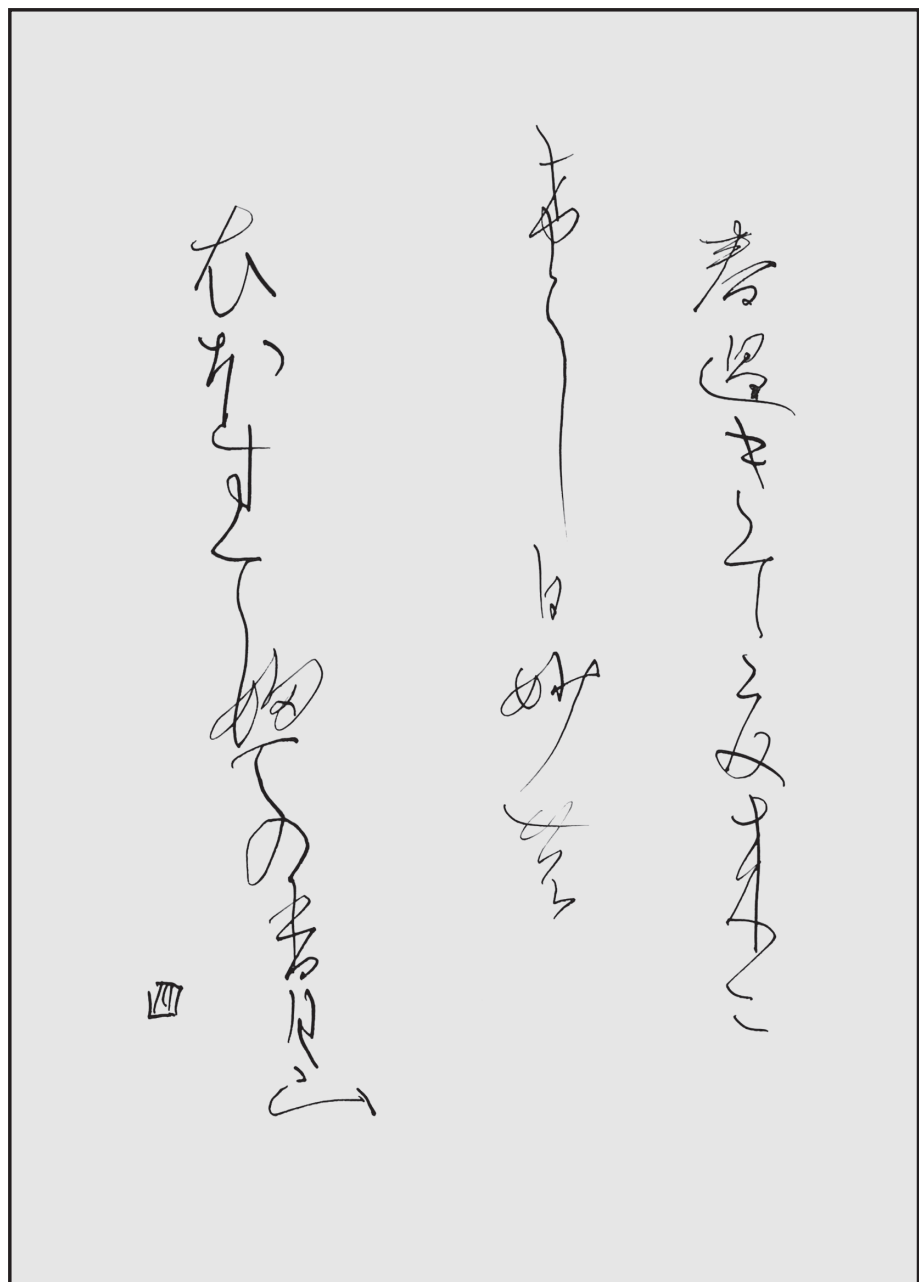
こうし ぎれ
香紙切



夏アルの母ひ遊にも可ゆる三わが可み奈の依かな二しにに
水日こ利ひ年ど乎りの見ね曾をみみ多ぞハなく
んむらか可み見の御時多のあうハたはあは

締切り 四月二十三日（必着）

築瀬舟香書

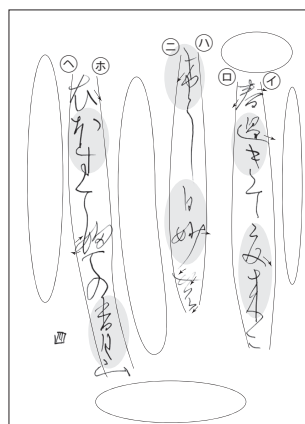


春過ぎて夏来にけらし白妙二希農の
衣本ほすてふ天歸の香具山

〔歌意〕春は過ぎて夏が来たらしい。
夏ともなれば衣を乾かすという天の香
具山に、ほら、真っ白な衣を乾かして
いるよ。

〔出典〕新古今和歌集
(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ・①と②、①と③、④と⑤、それぞれ
呼応。
- ・○余白大切。
- ・行の中の粗密の動き大切。（行のふ
くらみ）
- ・指向性大切。

◆5月課題予告

さつき山卯の花月夜ほととぎす
聞けどもあかずまた鳴かむかも

締切り 4月23日(必着)

春眠暁を覚えず…の言葉どおり
早朝のまどろみが心地よいこの頃
ですが、先生はお元気ですか。私は
夢の古書店がようやく持てそうに
なりました。店名が決まり次第、
扁額の揮毫を是非お願いします。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

春眠暁を覚えず…の言葉どおり
早朝のまどろみが心地よいこの頃
ですが、先生はお元気ですか。私は
夢の古書店がようやく持てそうに
なりました。店名が決まり次第、
扁額の揮毫を是非お願いします。

横 書 き 課 題

お ぐ 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

長谷川町子原作のサザエさんは
幅広い年代層に親しまれている。

埼玉県羽生市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 4月23日(必着)

新入から1級まで(行書)

須田一葉書

江山潤色増

〔読み〕 江山潤色を増す

〔大意〕 陽春となり山や川が美しさを増してくる。

準初段から師範まで

奥村暢之臨

宮菲食 輕係薄

〔出典〕 孔子廟堂碑(626~633) 〔筆者〕 虞世南(558~638)

〔読み〕 宮を(卑しくし)食を菲くし、係を輕くし(賦を)薄くし、

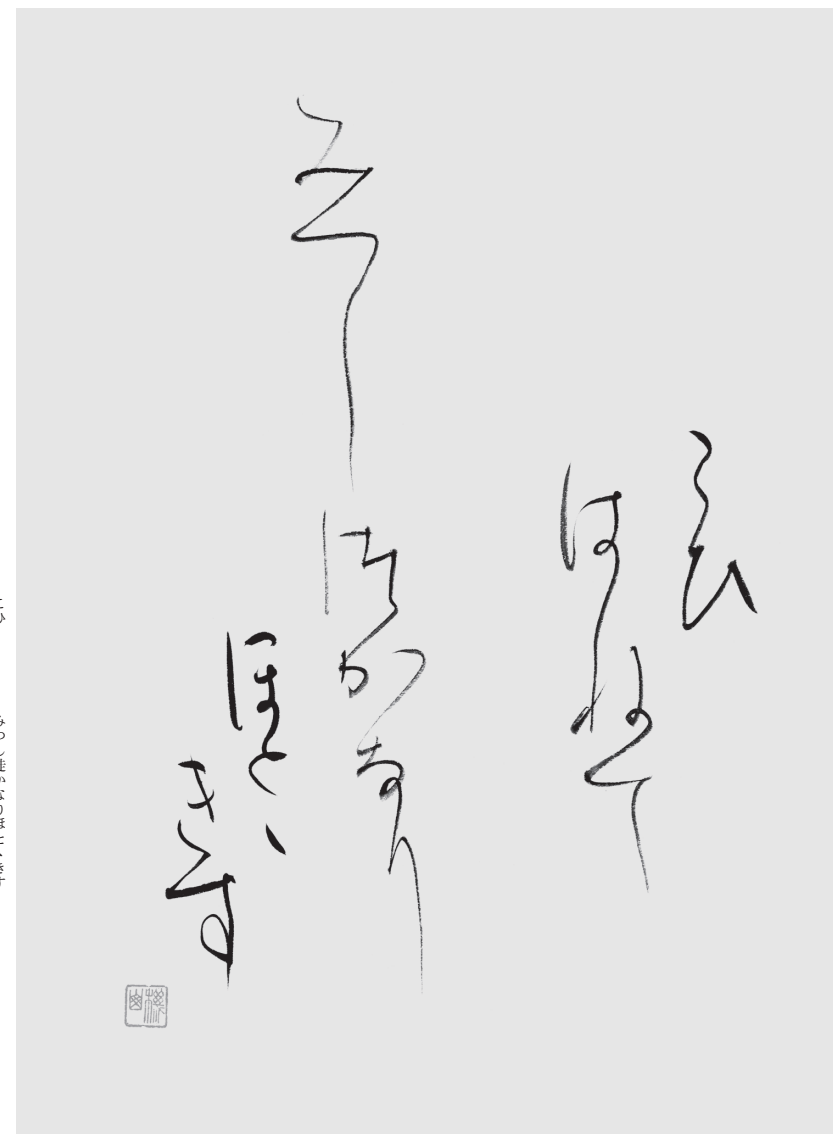
宮
菲
食
輕
係
薄

一般部毛筆かな課題

締切り 4月23日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書

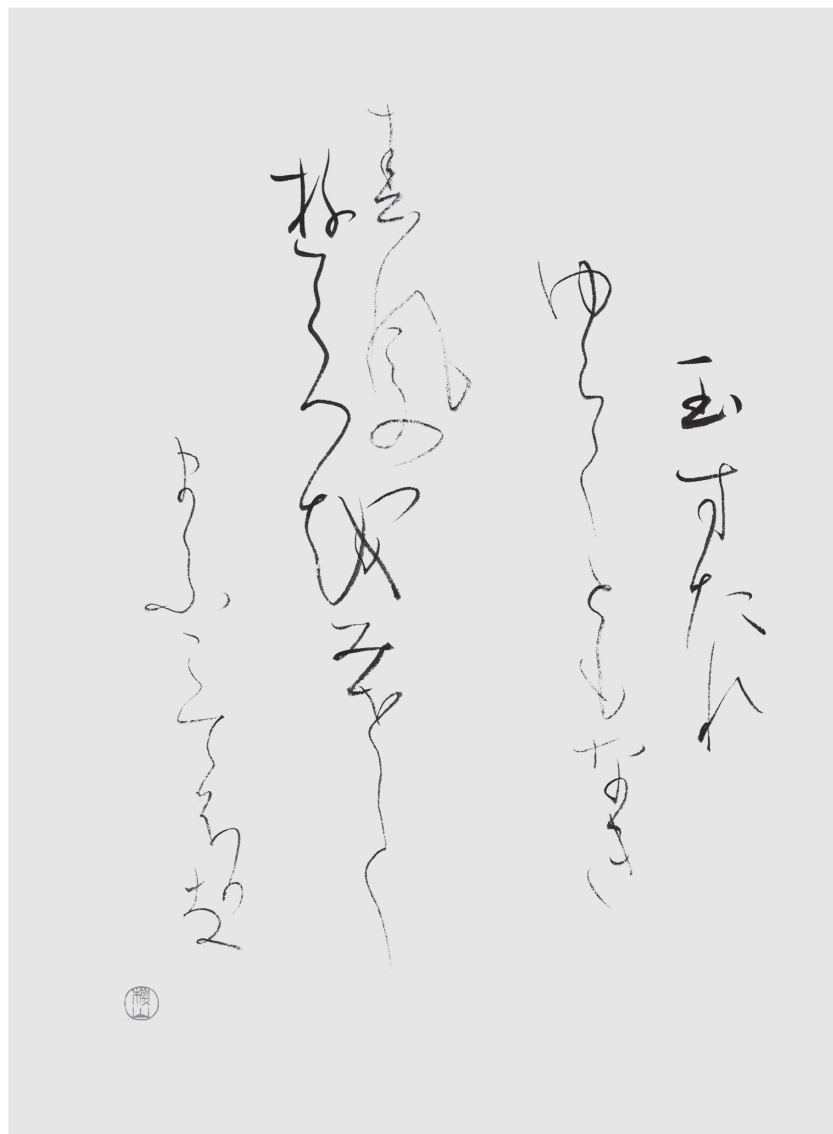


〔出典〕池西言水

〔句意〕静かな水面に鯉がはねる音がした。すぐもとの静けさに戻ったかと思うと郭公が鳴きすぎた、の意。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



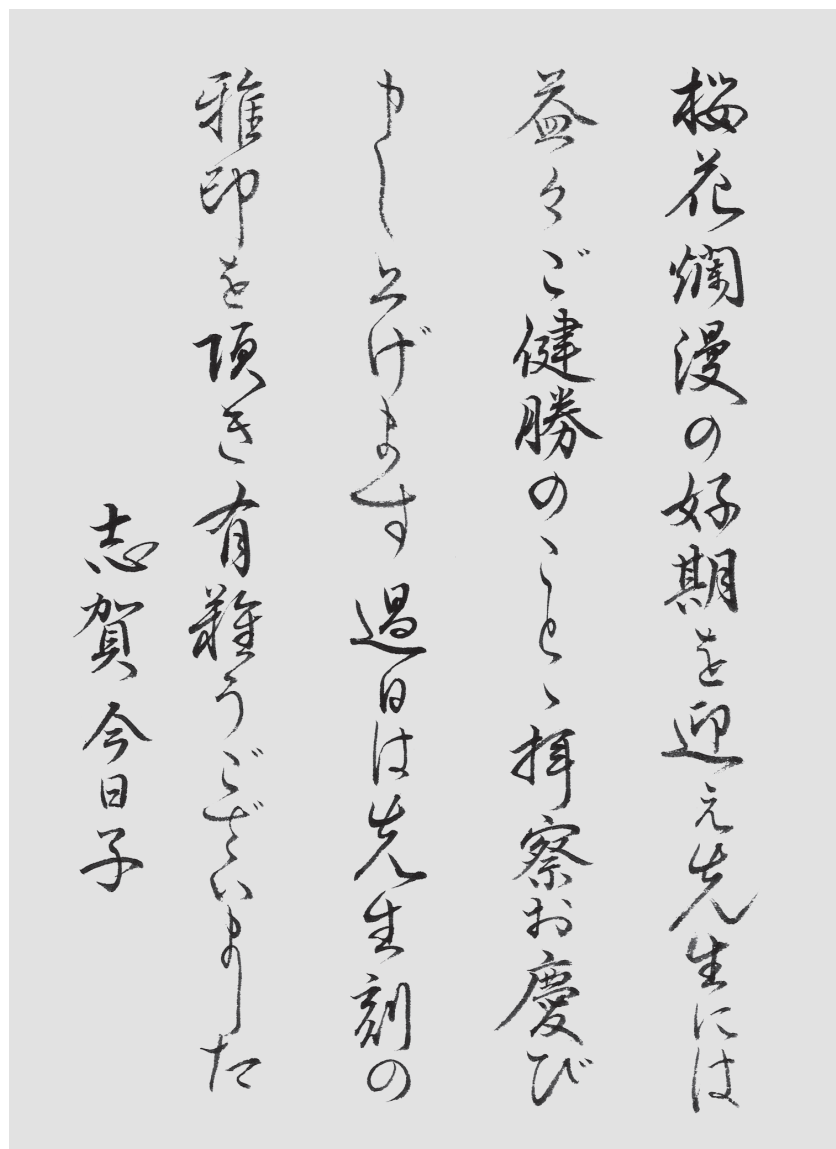
〔出典〕落合直文

〔歌意〕玉簾のゆらぐともなき春風の吹いてゆく行方を見せて、風に乗って舞う可憐な蝶よ。

玉すだれゆらぐともなき春風の
ゆくへを見せて舞ふ胡蝶かな

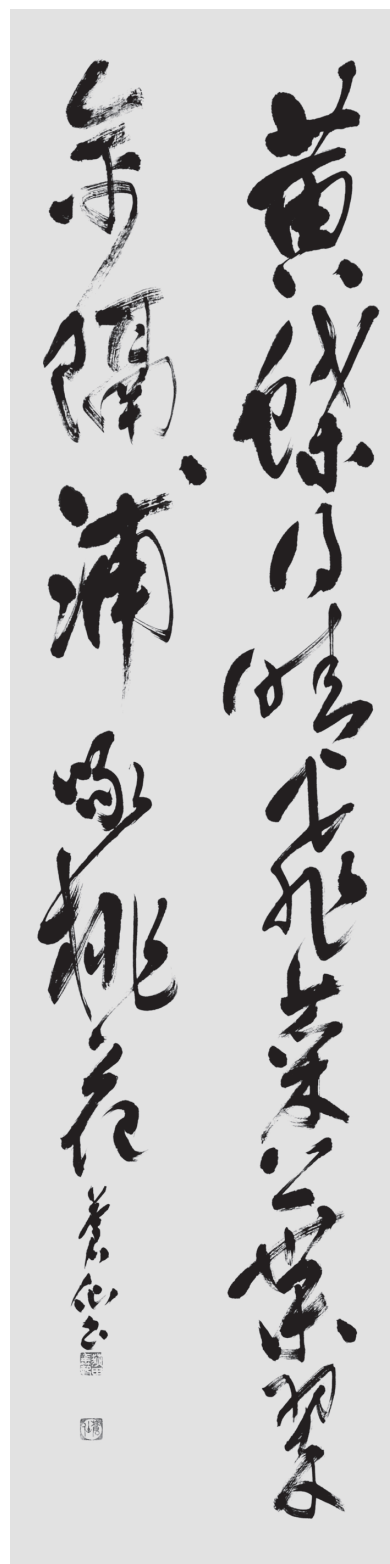
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

伊 藤 梅 香 書



締切り 四月二十三日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

荻 田 蒼 仙 書

〔条幅解説〕

漸増漸減を意識してそして気合が入ると、つい筆を固く握りがちになるので、緊張と握り手をほぐし、気分を楽につとめ書きました。

桜花爛漫の好期を迎え先生には
益々ご健勝のこと、拝察お慶び
申し上げます。過日は先生刻の
雅印を頂き有難うございました

(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

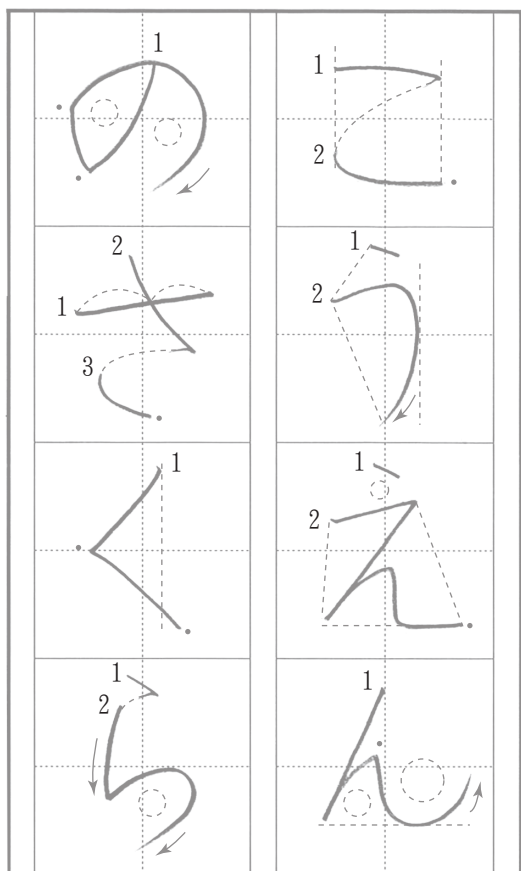
黄蝶得晴飛菜葉
翠禽隔浦啄桃花
陳 深

〔大意〕 黄色の蝶が晴天の下、野菜の間を飛び回り、浦の向こうではみどり色の小鳥が桃の花をつついていいる。

初出品の方へ

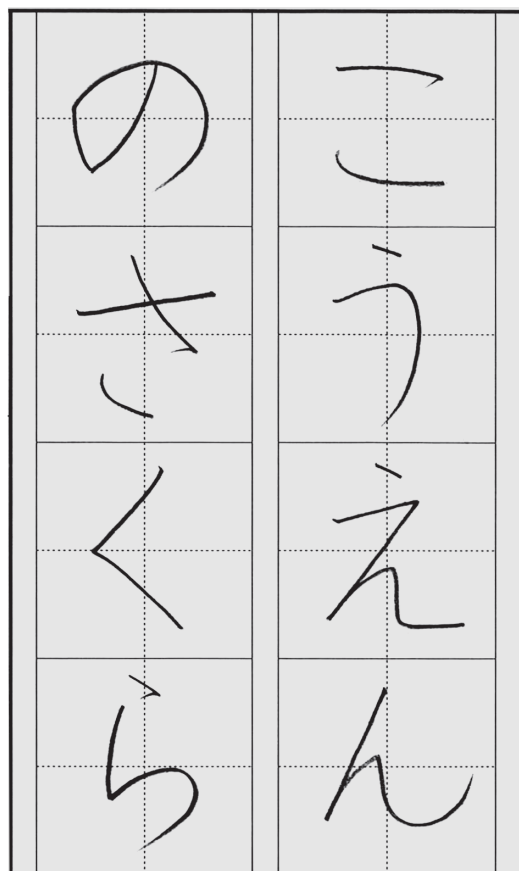
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



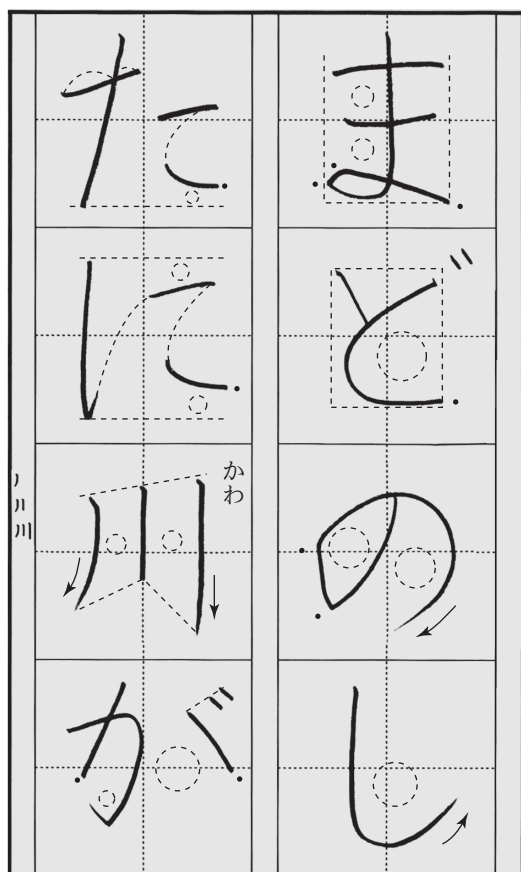
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



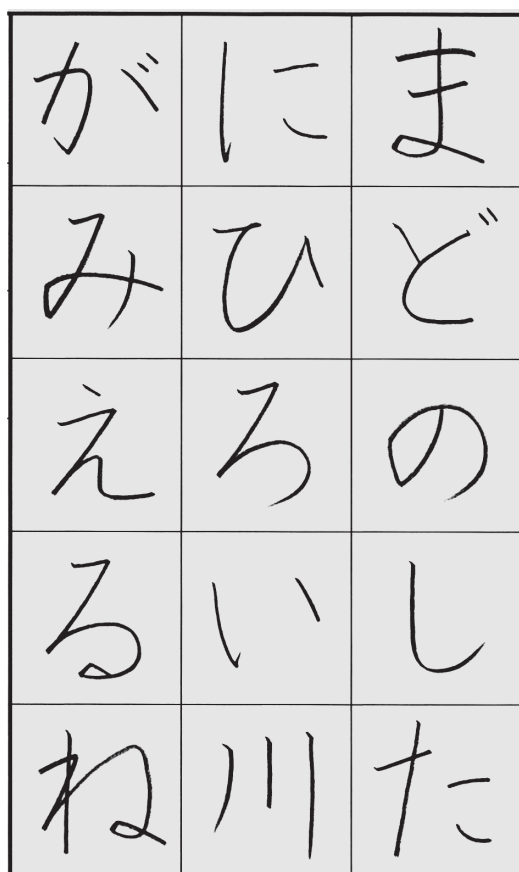
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



新
小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

はし ハグバ谷谷谷	たに 谷
の	むら 村
を	を

新入1級

さ	る	谷
く	バ	の
見	ス	村
え	が	を
た	小	走

新小二年

準初段以上

リヨク 力	ウン 運
ドウ 動	タイ 体

新入1級

力	運	毎
を	動	日
つ	し	楽
け	て	し
る	体	く

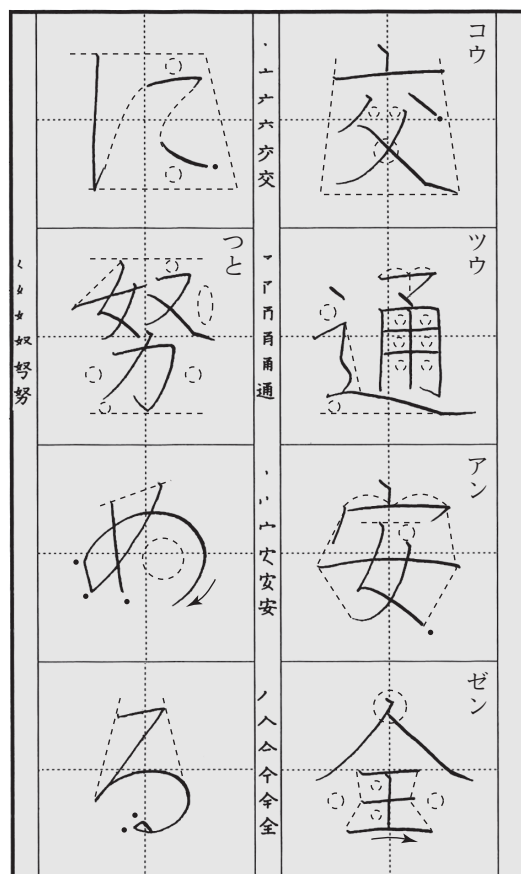
新小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新小四年

(全員)



新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

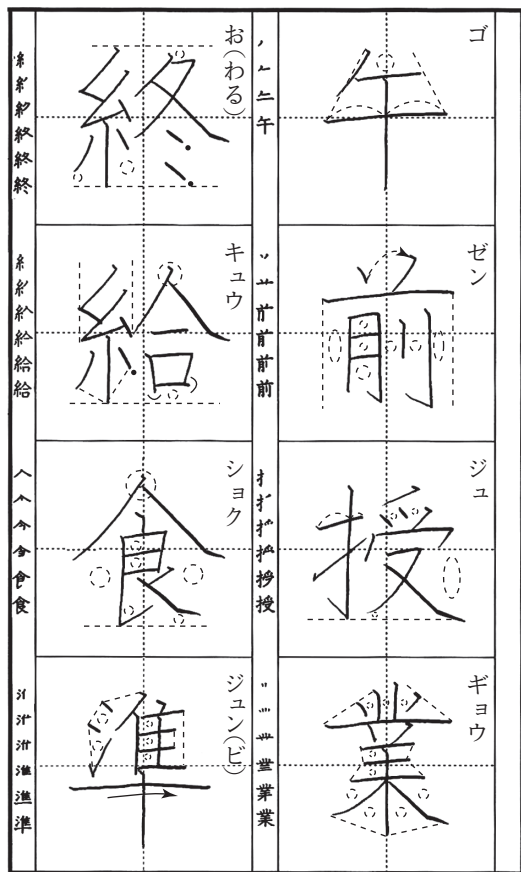
新小五年

(全員)



小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上 岡嶋桂川書

〈用具 自由 (黒色に限る)〉

置	店
情	正
報	確
探	位

解説 (よく見て習いましょう)

置	の	ス
情	正	マ
報	確	ホ
探	な	で
す	位	店

新小六年 (全員)

に	常	裁
携	時	縫
帯	力	道
す	バ	具
る	ン	を

新中二・三年 (行書)

を	目	懂
勉	指	れ
強	し	の
す	英	通
る	語	訳

新中一年 (行書)



こどぎのひろば



幼年

よ	で	へ	は
い	きる	ん	っ
こ	る	じ	き
		の	り

新小三年

明	元	こ	お
る	気	ん	は
い	に	に	よ
一	あ	ち	う
日	い	は	
	さ		
	つ		

新小六年

願	そ	平	戦
い	れ	和	争
で	は	な	の
す	全	地	ない
	人	球	
	類		
	の		

新小一年

上	そ	き	は
が	ろ	ち	き
り	え	ん	も
ま	て	と	の
す			は

新小四年

返	い	一	人
し	つ	つ	か
て	か	の	ら
あ	だ	親	受
げ	れ	切	け
よ	か		た
う	に		

新中一年 (楷書)

身	強	決	ど
体	い	し	ん
を	精	て	な
養	神	負	困
い	と	け	難
たい		ない	に
			も

新小二年

し	だ	生	花
ま	い	き	や
し	じ	て	虫
よ	に	い	も
う		ます	

新小五年

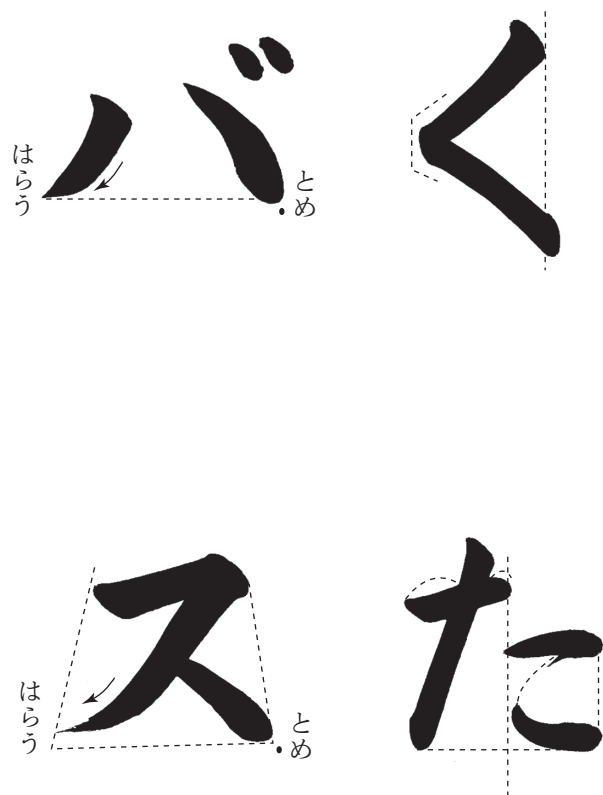
生	住	広	や
ま	み	げ	さ
れ	よ	て	し
ま	い	行	さ
す	社	け	の
	会	ば	輪
	が		を

新中二・三年 (行書)

身	強	決	ど
体	い	し	ん
を	精	て	な
養	神	負	困
い	と	け	難
たい		ない	に
			も

▼今月は、席書大会開催に合わせて特別に席書課題をひろばの課題とします。本番に向けてサインペンで練習してみましょう。

▼4行用紙のない場合は、いつも通り5行用紙に書いても構いません。体裁よく収めてください。用具も自由です。





全

体

給

力

食

安

かんむり小さく



新小三〜新小五年

水野碧友書

中二・三

携帯

小六

正確

新小六・新中二・三年

玉樹小華書

誤

正

携

確

帯

通

中一

通誤

※行書はリズムよく筆を運ぶことが大切です。